

2022年度 コミュニケーション支援の実際

疾病によってコミュニケーションに何らかの支障をきたしている方にとって、**自分の意思を伝える・感情や考えを共有する = “人と人がつながる”**ことは、その方の生活の質に大きく影響します。現在、さまざまなコミュニケーション機器が市場にあふれ、何をどのように選べばいいのか？本当にその方に適しているのか？選択に迷ってしまう方も少なくありません。この研修会では、その方の身体状況に合った適切なコミュニケーション手段を選択するための視点（評価）や手段の選択・文字盤体験など、講義と体験を交えながら学びます。

＜プログラム＞ ＊ オンラインに変更となった場合は、内容が一部変更となる可能性があります。

時間	内容・講師
9:50～	オリエンテーション
10:00 ～11:20	コミュニケーション支援における基本的なスキルと心得 かながわ難病等リハビリテーション支援連絡会 認定作業療法士 中川 翔次
11:20～	お 昼 休 憩
12:20 ～14:20	神経難病の「人」と関わるコミュニケーション支援 ～神経難病患者と共にコミュニケーション手段を探る～ 医療法人社団芳英会 吉野内科・神経内科医院 言語聴覚士 山本 直史
14:20～	休 憩
14:30 ～15:10	コミュニケーション機器を導入するときに知っておきたいこと ～スマートフォンやタブレットを中心に～ 神奈川リハビリテーション病院 リハエンジニア 柏原 康徳
15:10～	休 憩
15:20 ～16:00	在宅生活をしている方のコミュニケーション機器の活用支援 神奈川リハビリテーション病院 作業療法士 廣田 祐樹

- 開催日 令和 4年 7月 9日（土） 9:50～16:00（受付：9:30～）
- 会 場 神奈川工科大学 IT エクステンションセンター（神奈川県厚木市中町 3-3-17）
小田急線 本厚木駅 北口より 徒歩3分
- 定 員 20名
- 対 象 医療職、介護職、福祉職など
- 条 件 3回のワクチン接種を済ませている方（3回未満・未接種の方はご相談ください）
- 受講料 3,000円
- 申し込み方法 インターネットで「地域リハ支援センター」を検索
FAX：FAX申し込み用紙（裏面） に必要事項を記入の上、お申し込みください。
- 受講の可否 受講日の約1ヶ月前にメールアドレスに連絡いたします。
応募多数の場合は、選考にて決定させていただきますことをご了承ください。

コロナ感染予防のため、事前の健康チェック（10日間）をお願いしています。
また、当日は体調確認・手指や使用物品の消毒・室内の換気など、感染予防対策を実施します。

【注意事項】 コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン研修に変更となる場合があります。
その際には、受講決定者には改めて参加の可否をメールにて確認させていただきます。

受講を希望される方は、必要事項をご記入の上、送信してください。

◎FAX 番号は、お間違いのないようお願いいたします。



『 コミュニケーション支援の実際 』 申込書

氏 名	フリガナ ()	職 種	
勤務先名		経験年数	年
連絡先住所	〒 () 自宅 ・ 勤務先 ※どちらかに○をしてください		
電話番号		FAX	
メールアドレス			

*お申し込みの際の情報は、当研修以外で使用することはありません。

*上記アドレス宛に、受講決定通知や研修会についてのお知らせを送信しますので、お申し込み者（個人）に届くメールアドレス の記載をお願いいたします。

なお、chiiki-shien.kensyu@kanagawa-rehab.or.jp からのメールが受信できるように設定をお願いいたします。

<問い合わせ先> 神奈川県リハビリテーション支援センター 担当：砂川・小泉・清水
〒243-0121 厚木市七沢516
☎：046-249-2602 FAX：046-249-2601